

中学生用特別号

オープンスクール本日開催

坂の上通信

令和元年9月7日
広島市立美鈴が丘高等学校
新聞文芸部(四〇三演習室)

参加予定者は762人

今年も中学生対象にオープンスクール(以下OS)が開催された。新聞文芸部では、OS用の紙面を作成するため、この春入学した1年生を対象にアンケートを実施した。

最初の質問は「美高のいいところって何ですか」だ(表1)。

中でも多かったのは、

自然や景色など、環境がよいという声だ。美鈴が丘団地は山を切り開いて作られているため、その中にある美高の教室の窓からは、四季を感じさせる風景を眺めることができる。

また授業は少人数で行うものも多く、静かで学習に集中できるという声も多かった。

刺激的で退屈しないスクールライフを送っている生徒も多いのだろう。

部活動を挙げた回答もあった。中学校にはあまりない部活があるほか、活動内容・範囲も大きく広がる。グラウンドも広く、雨が降った時でも中央ギャラリーで活動している部活動もある。

その他にも色々な声があり、美高1年生がのびのびと過ごしていることがうかがえる結果となった。



(表1)「美高のいいところって何ですか」あなたの回答は？

- ・校舎が広くてきれい
- ・自然に囲まれ景色がよい
- ・授業中が静かで集中できる
- ・勉強できる環境が整っている
- ・部活動が盛んで充実している
- ・部活動の種類が多い
- ・食堂がおいしい
- ・制服がかわいい
- ・校則がそれほど厳しくない
- ・講堂など設備が整っている
- ・クーラーがあって涼しい
- ・行事が生徒中心で楽しい
- ・全体的に雰囲気が良い



授業は少人数・グループで行うものも多い

(表2) 中学と高校、ここが違う！

- ・勉強の量が多い、難しい
- ・授業のスピードが早く、予復習が増えた
- ・宿題や小テストが多い
- ・休みが少ない、休日に模擬試験がある
- ・7時間目がある(月・水・金)
- ・自分で判断すること(自由)が増えた
- ・部活動が本格的になった
- ・食堂や自動販売機がある
- ・名札がない
- ・持ち込めるものが増えた(スマートフォン・現金など)
- ・通学時間や方法が大きく変わった

中学・高校の違い

1年生に、中・高の違いをどこで感じているかを尋ねた。

最も多かった声は学習面。授業が7時間目まであり、内容も難しくなる・進みスピードも早くなる・毎日の予復習が必要、などを挙げた人が多かった。

美高では、大きな大会に出場する部活動も多いのでそれを反映した回答だろう。

色々な面で自由が増えたという回答もあった。しかしそれは同時に責任が増えるという意味でもある。節度を持った高校生活を送ることが求められるようになった、とも言える。

高校に晴れて入学できたときのお祝いは何を貰うのか。美高1年生の回答は「現金」が最も多かったが、ものとしてはスマートフォン(スマホ)や電動自転車と答えた人が多かった。

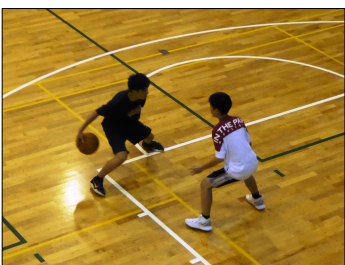
中学生でスマホを持っていなかった人が、高校入学を期にスマホを持つようになるのだろう。なお新聞部調べでは、美高生のスマホ所持率は97%に上る。

入学祝いは...

また美高は坂の上に

あるため、6割ほどいたときのお祝いは何を貰うのか。美高1年生の回答は「現金」が最も多かったが、ものとしてはスマートフォン(スマホ)や電動自転車と答えた人が多かった。

他には腕時計や、部活で使う道具、通学靴、通学用の靴、パソコンなどの回答が目立った。また旅行やライブのチケットなど、思い出になるものも多かった人もいたようだ。



部活動もより本格的になる(バスケット・美術部)

3時間以上の学習を

「受験を控えた中学3年生の時(秋・冬)、一日どれくらい学習をしていましたか」という質問を、現1年生に行った。結果は下表の通りである。

一般的な受験生の平均学習時間は、3時間から5時間程度といわれている。美高生は3時間から4時間未満が最も多く、続いて僅差

で2時間から3時間未満、4時間以上だった。受験勉強は、毎日机にむかい「習慣付け」をすることが最も大切だ。自宅以外でも、気分転換に塾や図書室の自習室を利用するのもよいだろう。

模試や定期考査で間違えた問題は、必ず復習しておこう。同じミスが起らないように。

勉強時間	人数
1時間未満	17
1時間～2時間未満	40
2時間～3時間未満	55
3時間～4時間未満	65
4時間以上	47

体調管理も大切だ。生活習慣を乱さないよう3点固定に気をつけて頑張ってください。

編集後記

この新聞を作成した新聞文芸部です。美高のHPにはバックナンバーも掲載していますので見てください。

美・鈴・鈴・鈴

OSは、受験を考えている学生などを対象として開催される。進路を選択するときにはこのような機会を活用し、実際にその学校を目で見てみるのが大切だ。▼皆さんが今日美高に来たように、美高生も大学などを見学し、自分の進路を真剣に考えている。大学のOSでは教授が学部の授業内容を説明したり、学生が大学生活を紹介したりする。またサークルの体験も実施される。パンフレットでは分からないものを見るのがOSである。▼今日の美高のOSでは、講堂での説明のほか、体験授業や部活動見学、施設の見学などが可能だ。せっかくの機会なのだから、しっかりと美高の空気感を味わい、できれば1人は先生や生徒と言葉を交わしてもらいたい。そうすることで感じられるものもあるはずだ。▼来年受験を控えるみなさん。希望する高校の受験に向けて全力で取り組もう。それが美高だったから、よりうれしいけれど。(増谷帆香)